

農林業のあり方と学校教育について

新世紀の会 西野 修平



質問→少子高齢化での農林業の担い手確保と環境保全の為の施策は、学校教育の中で農林業の体験学習を必須にしては。株式会社の営農参加について。

答弁→小学校では米、野菜作り、中学校



津山再生クラブ 斎藤 弘道

冬場の除雪作業はどうなるのか

ると、今年から除雪作業は民間委託でいくと聞いた。今まで整備した除雪機械はどうするのか。民間委託することで今までのよなきめ細かい除雪作業が望めるのか。除雪作業の委託契約はどうのように考えているのか。

答弁→除雪作業は、住民生活に密着したものであり合併前に比べてサービスの低下があつてはならないと考えている。

質問→旧加茂町、阿波村は、山間地域で少なくなったと言つてもまだ降雪量が多い地域である。聞くところによ

では農畜産を職場体験する生徒がいる。

この他、学校全体で自然、環境、食物、勤労への正しい認識を深め後継者養成の啓発をする。株式会社と地元農業者の秩序ある農地利用が担保されるよう研究する。

質問→風倒木の復旧は、山の保全に炭焼き等を通じて山の資源をどう活用するのか。また、学校教育の為、手入れできた山を寄付したいとの篤志家があるが。

答弁→山の復旧は秋以降に期待している。篤志家の苦話などを聞く事が大事だが、生活を楽しむ上で炭の効能は大きく、森林保全も図れるが現地での作業は大変困難だ。

静かな时限爆弾・アスベスト

公明党津山市議団 仁木 豊司



質問→アスベストの脅威が社会に衝撃を与えていて。二十年、五十年もの潜伏期間を経て中皮腫や肺がんを発症させ

答弁→胸部レントゲンでわかる場合もあるが、量が少ない場合はわからないこともある。アスベストによる健康被害も含め、少なくとも年に一回は、健康診断を受けるよう啓発していきたい。



政津クラブ 秋山 幸則

市民の熱い期待の「新市建設計画」の実現を

の活用「PFI」手法で熱い期待に答えるべきではないのか。台風で倒木した山林を再生するためには企業の支援は不可欠である。企業が国内で植樹したらCO₂排出権を与えるよう国に働きかけてもらいたい。環境都市宣言を行なう地図と環境にやさしい街づくりの推進を。

質問→新市建設計画は、国の厳しい査定で箱物事業は認可されないと聞くが市民の熱い期待を裏切ることになる。諸事業を計画通り実施するため民間資金

る。静かな时限爆弾とも言われている。

石綿はスレート材、ブレークリайн等やブレーキパッド、防音材、断熱材、保温材などで使用。石綿は使用することが問題ではなく発散することにより、吸い込むことが問題。どの程度の量のアスベストを吸い込んだら発病するかなど対応は。

◎有権者が威迫してあるいは議員を陥れると処罰されます。